

平素は大変お世話になりまして、ありがとうございます。
 年度が替わり、お仕事の状況も少し落ち着いたのではないのでしょうか？
 今回は久しぶりにアルコールチェックをテーマに選定しました。



アルコール検知器使用の義務付け！機能してますか？

すでに、2022年4月から義務化されているアルコールチェック業務。対象企業の皆さま方、進捗状況はいかがでしょうか？ 事業所毎 5 台以上送迎等で車両を所持している放課後等デイサービスや児童発達支援、障害福祉サービスは、アルコール検知器が必要 + 酒気帯びの有無について記録し、記録を1年間保存が必要です。

- ・安全運転管理者の選任ができていない
- ・安全運転管理者が任務を果たしていない
- ・酒気帯びの記録がされていない
- ・アルコール検知器がない

などに該当した場合、送迎加算が取得できなくなる可能性もあるようです！

さらにアルコール検知器が無いことは、実地指導でも行政指導の対象になるので注意が必要です。



←運転日報アルコールチェックアプリは社用車の運転日報と運転前後の飲酒の有無を、運転者本人がスマートフォンのアプリに記録し、安全運転管理者がその状況をパソコン上で確認できます。紙の管理が不要だからとっても楽ですし、環境にも優しい！ちなみに弊社でも使用中です。ご興味ございましたらお問合せください。

意外と長い！アルコールが体から抜けるまでの時間

ビール	日本酒	ウィスキー	ワイン	チューハイ
				
500ml (中ビン1本または ロング缶1本)	180ml 1合	60ml (ダブル1杯)	200ml (グラス2杯)	7%のもので350ml

上記のアルコール分解にかかる平均時間は4～5時間。『アルコール抜けたと思った』とならないよう、自分の適度なアルコール摂取量を理解していたほうが良いかもしれませんね！

お時間があるときにのぞいてみてください！フォローもお願いします！

ホームページはこちら

オンワード・マエノ
 ができること



Instagram

インスタグラム
 はじめました



X (旧Twitter)

X(旧Twitter)
 はじめました
 @onwardmaeno

